グループ全体の環境負荷はどうなっていますか？

JR東日本グループは事業を行うにあたり、多くの資源を消費しさまざまな物質を排出しています。
このインプット、アウトプット（資源・エネルギーなどの収支）両面における
環境負荷を低減するため、定量的な把握に努めています。

INPUT インプット

JR東日本の事業
営業収益 1兆9,149億円

エネルギー
- 電力 56.6億kWh(うち自営電力が56%)
- 都市ガス 1,010万m³
- その他の燃料 8.4万kℓ（原油換算）

水 1,128万t

OA用紙 1,801t（うち再生紙が99%）

グループ会社の事業
営業収益 6,774億円

エネルギー
- 電力 9.3億kWh
- 都市ガス 3,683万m³
- その他の燃料 5.8万kℓ（原油換算）

水 1,093万t

OA用紙 877t（うち再生紙が76%）

OUTPUT アウトプット

CO2排出量 258万t-CO2

一般廃棄物①

オフィス	2,912t
駅・列車	44,805t
総合車両センター等	1,626t
切　符	666t

産業廃棄物②

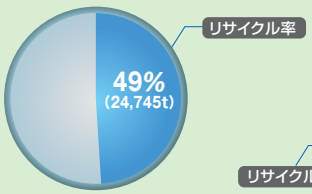
設備工事*	537,408t
総合車両センター等	35,460t
医療系	104t

CO2排出量 57万t-CO2

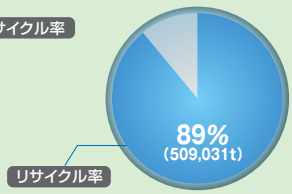
一般廃棄物③ 85,442t

産業廃棄物④ 61,299t

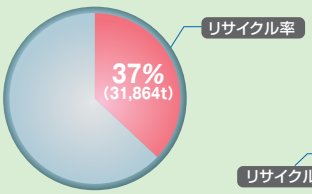
① 一般廃棄物（50,009t）



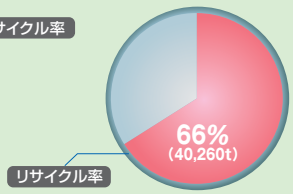
② 産業廃棄物（572,972t）



③ 一般廃棄物（85,442t）



④ 産業廃棄物（61,299t）



*法律上は工事の請負会社が排出事業者となる工事廃棄物も産業廃棄物に含んで把握しています。